

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 12 月 2 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3491700096		
法人名	株式会社ディア・レスト福山		
事業所名	グループホーム松花園		
所在地	広島県府中市上下町上下851番1		
	電話番号	0847-62-8322	
自己評価作成日	成 29年 10月 20	評価結果市町村受理日	平成 29 年 12 月 8 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	平成 29年 11月 21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

職員一同が企業理念である「ひとにやさしい介護を目指して」の実現に向けて取り組みながら、入居者様の安全、そして、安心して生活していただけるようにスタッフ皆で一致団結して頑張っています。また、医療機関との連携により、入居者様がいつまでも健康で、その人らしく、穏やかに、笑顔で過ごしていただけるように努めています。ご家族様にも入居者様の日頃の生活が見えるよう、広報誌・写真・手紙などを請求書などと一緒に送らせていただき、安心していただけるように努めております。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

町の中心地で駅も近く、隣にはコンビニがある。道路の向かいには町の保存地域であり、商店も多く、住みやすく便利な場所である。また、府中北市民病院が近くにあり医療連携が構築され、24時間体制となっていて安心である。室内も木造住宅なので木の香りが安らぎと心地よさで穏やかに過ごせる環境となっている。リビングには暖炉があり、室温にも常に配慮されている。又、居室は床暖房となっていて温度も適温に保たれ安全である。地域の行事も多く季節毎のお祭りがあり、色んな場面に参加し、楽しみのある生活ができています。ケア面に於いても理念である、人にやさしい看護、一人ひとりに合わせた介護を基本とし、寄り添い、思いに耳を傾け其の人らしく、健康で残存機能を維持し、家庭での生活の延長線上である様家庭的な雰囲気を大切に心あるケアを目指し全職員がブレのない統一した対応を心掛けられている。地域との関わりも色んな立場の方々の協力があり、運営推進会議も充実し有意義な会議となっている。地域の一員としての理解も得られ交流も日々深まっている。家族の訪問も多く連携を密にしながら共に協力し合い、地域、家族、事業所、三者で利用者を支え、安心、安全に一日を過ごしてもらえよう職員一丸となり取り組まれている。今ではその地になくはない事業所となっている。
--

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ディア・レストグループ全体の理念である「ひとに優しい介護」を毎月のミーティングで共有し実践しています。松花園でも笑顔・丁寧な言葉遣い等の基本的なことの共有ができてきました。	毎月のミーティングで唱和し、振り返る機会としている。又、理念を基に毎年職員で意見を出し合い年間目標を立て、それらを年4回、評価と反省を行い、ブレのない統一したケアを実践する様取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベント・祭りへの参加。地元ボランティア様・地域の知り合いの方等の訪問、そして、地元の保育園児の来園や、ショッピングセンターでの買い物。秋祭りには、たくさんの方の来園がありました。選挙にも参加希望者は投票に出かけておられます。	あらゆる地域行事に参加すると共に事業所主催のお祭りには地域の方の参加が多く、毎年楽しみにされている。ボランティアや中学生の体験学習、保育所園児の訪問等の受け入れも積極的に行い、多くの方と交流ができるよう取り組まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	松花園の行事に、地域の方やボランティア様に参加していただき、取り組みを見て頂いています。商店街にもよく散歩に出かけ、地元の人との触れ合いもあります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事や取り組み、入居状況の報告。他施設の情報も頂き参考にしています。今年も1年間の行事DVDを作り運営会議で見て頂きました。	家族、町内会長、民生委員、消防分団長、交番所長、行政(複数名)等の参加の下、現状を詳細に報告し、意見交換の場とし、参加者全員に意見を頂き、それらをサービスに活かしている。又、行事等はDVDを鑑賞しもらうと共に毎月のお便りも見てもらい、状況把握してもらっている。毎回有意義な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に参加し、地元の施設・病院・市町村担当者との意見交換、また、運営会議でも情報を交換できています。北市民や、府中市民病院の勉強会には、積極的に参加し交流をしています。また、市からの提案で他の施設との交流の話もいただいております。	運営推進会議へ毎回数名の方の参加があり、実情は理解が得られていると共に情報や助言等も得られている。連携も構築され協力関係が築かれ依頼や提案等の相談もある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議で虐待の勉強会も毎月行っています。見守りを心がけ、身体拘束のないケアに取り組んでおります。夜間9時以降は玄関の施錠。日中は、自由に出入りしていただき、スタッフの見守りの必要な方はいたしております。	毎月の会議の中で拘束、虐待等の勉強会はしている。全職員理解している。基本拘束はしない方針であり、不穏で外出される場合は要因を職員間で話し合い、連携を取り見守りで対応し、抑圧感のないケアの統一に努められている。職員同士でも注意合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な勉強会を行い、情報を共有しています。また、日頃の生活の中で、私たちが虐待の意識がなくなっている事もあるので、スタッフ間での話し合いを行うようにしています。入居者様の細かな変化にも対応するようにしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を以前手続きをして、活用されておられた入居者様もいます。現在はおられません。管理者・ケアマネは、勉強をする機会がありましたが、松花園での職員の勉強会はいたしておりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には家族様や、ご本人様に見学に来ていただき説明をしております。契約時にも時間をかけて説明致しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様よりスタッフに要望が入った際には、連絡ノートや会議にて話し合いの場を持つている。運営会議に家族様も参加されており、その時にも貴重なご意見を頂き、反映させていただいております。ご意見箱も設置していますが、お礼の手紙のみです。	訪問時や運営推進会議、行事等で状況を伝える中で把握するように努めている。意見等は記録され会議で話し合い、個々に対応すると共に運営に反映させている。毎月御手紙に写真を添え状況を報告されている。どんな些細なことでも密に伝え連携を図られている。家族の訪問も多い。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、全体のミーティングを行っております。その会議で意見や提案を行い、新しい決まり事をみんなで決めるようにしています。また、会議で決まったことでも、次の会議で意見を聞き、変更することもできるようにしています。	個人面談も年1回ある。日々気付きがあれば申し送りノートに記録しミーティングで検討する仕組みとなっている。又、会議でも全員に意見を聞き、些細なことでも話し合うようにしている。職員アンケートでも把握するようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	特に新人スタッフには、思いや考えを聞いたり、伝えたりしてコミュニケーションに努めている。時間外労働はできる限りしないようにしている。時間外のある場合には、時間外を付けている。スタッフ働きやすい環境を心がけおり、有給も取りやすい環境になつてと思う。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外の研修にも参加させてもらっています。積極的に研修や、資格を取得する職員が増えてきています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月に1回地域ケア会議参加。北市民病院の勉強会・府中市民病院の勉強会にも参加をし地域の同業者と交流をしています。又、福山・広島・三次・山口のディア・レストグループとの交流もしています。他事業所の良い所は生かしてここでのケアにつなげている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前情報をスタッフ間で共有し、ご本人様と関わっております。そして信頼関係を作りながら、良好な関係がきづけるように努めております。できるだけ、寄り添い傾聴し、色々な情報を集めています。安心して生活していけるように、笑顔での対応を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に感じておられる事や要望などに対して出来るだけ傾聴しています。そして施設でどのように過ごして頂きたいかを聞きとり、要望にこたえられるようにしています。家族様の不安を取り除くことができており、喜んでいただけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様・本人様が、今一番必要としている事、困っている事を確認して、スタッフ間で共有し良い支援に繋がるようにしています。そして、できるだけ希望に沿った生活ができるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できるだけ入居者様に寄り添い、昔の話や、今思っておられる事を傾聴し、入居者様・スタッフが、なんでも言い合える家族のような関係になれるように努めています。洗濯物なども、たたんでくださっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携も大切に致しております。行事への参加も連絡し、変わった事があった場合には細目に電話連絡をしております。毎月1回施設での生活状況を手紙にて写真と一緒に送っています。外泊・外出など家族様との交流もできております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの店に買い物に行ったり、入居者様のお知り合いの方も面会に来られています。地元のボランティアの方々や地元の傾聴ボランティアの方たちにも来て頂いてます。また、実家に何名かの入居者様と一緒に帰り、柿・ゆずを採りに行くこともあります。	地域行事に出かける事で馴染みの方と出会う機会が多くある。又馴染の理、美容院を利用されたり、馴染みの商店に買い物に行かれる方もある。友人の訪問や自宅に帰られる方、また、携帯を持たれている方もいる。、電話の取り次ぎ等も柔軟にされ、馴染みの関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人ひとりの性格などを把握し、洗濯物をみんなで集まりたたんでいただいたり、玄関先で歌を歌ったり、お茶をしたりしております。気の合う入居者様同士でドライブに行ったりもできています。入居者様の気分転換の為のドライブにも出かけています。(ホーム長運転)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された入居者様も家族様と遊びによって下さる事もあります。他の施設に変わられた時なども、話をしに面会に行くこともあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションにて希望を聞きとる事のできる場合には聞きとりをし、希望に沿った支援をしています。洋服を一緒に買いに行く事もあります。言えなくても、できるだけ感じ取りスタッフで話し合う場を設けて、できるだけ本人様の意向に沿った手助けをしています。	利用者との信頼関係ができていて気軽に思いや要望を言われる方が多く、こだわりの洗剤や歯磨き粉の注文や食べ物、年賀状の注文など様々な希望が出る。又、趣味の話からも把握する事ができ可能な限り思いに沿うよう支援している。表出困難な方は表情や行動から汲み取り検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報収集にて生活歴・生活環境を聞きとり、又、入居されてからの生活の中でその人にあった支援ができるようにコミュニケーションを取り、現在の入居者様にあった支援ができるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の体調の変化等にも気を使い、記録に残しています。手伝って頂ける事はお願いして、毎日の役割として手伝ってもらっています。できるだけADLが低下しないように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様からの希望、本人様からの希望をなんでも話して頂き、計画に反映している。また、スタッフの意見もきき、現状に即した介護計画を作成しています。	基本情報、本人、家族の希望、身体状況等を基に暫定計画を立て、1ヶ月間状況を把握し、カンファレンスで職員の意見を反映させ、本計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、見直しは半年とされている。状況変化が起きた場合はその都度見直しされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づき等こまめに記録に残し共有している。そこからの情報を見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様のニーズに合った支援をするように心がけています。家族様にも相談しながら、入居者様のニーズにこたえるようにしています。できるだけ、他の施設がしていないようなことができるように努めています。例えば、気分転換のドライブ・買い物・旅・・・		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や、民生委員の方の面会・近所の方に来園していただいています。傾聴ボランティア様にも来援していただき、昔の話や、色々な話を聞いて頂いています。保健センターでの夢体操への参加。また、ショッピングセンターへコーヒーを飲みに行くなどしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による施設での往診・家族様の希望されている病院への受診・希望される医療を受けられるように支援している。北市民病院との交流も積極的にしている。	協力医療機関の往診が週1回あり、密な連携ができていると共に非常勤ではあるが看護師が4名いる為、急変事等も安心である。かかりつけ医(眼科、歯科)等の受診支援もされている。結果についても報告され、共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が4人現在勤務しているので、常に報告・相談し、支持を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関の北市民病院の相談員とのこまめな連絡はとれている。入院時にも、ほとんど毎日お見舞いに行き、体調の確認を病院看護職から頂けるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した場合のご家族様の意思確認を記入していただく。また、状態の思わしくない時には、医師に報告。ご家族様に報告。今後の方針を確認している。往診時に家族様に来園していただき、医師からの説明も都度都度していただいております。去年と今年、施設内での看取りをしています。	利用開始時指針を基に説明され理解が得られている。状況変化が起きた場合は医師から家族に説明され、家族の意向を聞き、方針を共有し、関係者の協力を得ながらチームで支援に取り組まれる。主治医との連携もできていて24時間対応ができる体制である。看取り体験もされている。看護師による研修もしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応として、ドクターより救急車は呼ばずにすぐに車対応をするようになっています。5分もあれば病院まで到着できるため。そのほか、会議にて緊急時の対応は毎回話しています。常に看護師が勤務しているので、安心です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スタッフの連絡網の作成。年2回の消防避難訓練を行い、指導を受けております。運営会議で町内会様との連携もお願いしています。	年2回、消防署指導、自主訓練を実施し、通報、消火、避難誘導の訓練をされ、慌てず速やかに対応できるよう取り組まれている。運営推進会議で報告を行い協力をお願いもしている。又、避難確認もドアの名札を裏返し、開けておくという工夫を周知されている。	

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としての対応をスタッフ一同心がけています。また、入居者様のプライベートなスペースに入る場合には、マナー違反の無いように徹底し、声掛けや、表情などにも気を付けています。	外部研修に参加したり、内部研修も実施すると共にミーティングでも尊厳を大切にした対応をするよう周知されている。馴れ合いになっても節度ある言葉かけや対応をするよう心掛け、お互いに気付いた時には注意し合い統一したケアをするよう取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が思いや希望を表現できるような、施設内の雰囲気作りや、関係づくりが出来ている。日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を作るように心がけています。ほしいものなども、入居者様から言ってくださっており、買いや、ドライブなどにも一緒に出掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に出来る限り希望に添えるように心がけております。入浴時間や、ドライブなど希望にこたえている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で出来る方は身だしなみに気をつけておられますが、そうでない入居者様は、スタッフが注意して対応させてもらっています。化粧をされている入居者様は、化粧品の購入など、買い物に行ったり、家族様に持ってきてもらっています。美容室希望の方は、送迎にて数名行かれていま		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	庭園にてつくつた野菜を入居者様と収穫して調理に使っています。下善できる方にはして頂き、食器洗いのできる方には、手伝っていただいております。食レクなども行っています。入居者様の好き嫌いなどにも気を付けて準備している。	旬の食材で冬の定番料理のお鍋を囲み、食を促す声かけや食材を話題とし楽しく食されている。鍋は暖かくなるねと言いながら皆さん完食されていた。力量により、下膳や食器洗い、テーブル拭き等、職員と共にされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は常にチェック記録に残しております。一人ひとりに合った食事量・形状にして対応しております。意思疎通のできる入居者様には、食事量を聞くようにしている。水分のなかなか進まない入居者様にも、工夫して飲んでいただけるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は解除させてもらったり、一部介助など、その人に適したケアをしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し声かけをしたり、または、ポータブルトイレを利用して頂くなどの対応をしています。より適した方法を考えながら色々試しながらケアをしています。	個々の時間帯でトイレ誘導され、生活習慣を活かした対応を心掛けている。自立の方も数名おられる。トイレやポータブルトイレの利用で、座位や立位をする事で機能維持にも繋がれると共に気持ち良く排泄できる支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを理解して、下剤の調節をさせて頂いています。看護師・医師にも相談しながら、予防に取り組んでいます。また、体操・レクなどで体を動かしていただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	月曜日から、土曜日までを入浴日として、対応していますが、日曜日に希望がある場合には、対応しております。1週間に2回以上の入浴の声かけを行っております。また、拒否の有った場合には、時間をずらしたり、日を変えるなどの対応をしています。	週2～3回、時間帯は午後と決められてはいるが、本人の希望を大切にされ、曜日も時間帯もその時々意向に沿った対応で清潔保持に努めている。拒否の場合は色々な工夫をしながら、週2回は入浴してもらえるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限り、本心様の意思を尊重し、自由に休息して頂いております。照明の明るさなども好みに合わせて調節しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があるときには、その都度確認をして、連絡ノートや業務日誌に記入してみんなが確認できるようにしています。また、入居者様の症状の変化にも早期に気づけるように対応しております。全てのスタッフが、今入居者様が飲まれているお薬の副作用などを覚えてはいないが、その		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を干して頂いたり、たたんでいただいたり、玄関の掃除、室内のモップ掃除、園庭の落ち葉を履いて頂いたりしています。みんなでショッピングセンターに買い物に行ったり、ドライブに行ったりと、気分転換の時間を作ってます。ノンアルコールビールや、ケーキなどを購入して、パー		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望者には、洋服を買いに甲山に出かけたり、ショッピングセンターにて買い物をしたり対応しています。今年も、平和公園に千羽鶴をもっていきました。広島出身の入居者様と行きました。商店街や、保健センターの夢体操にも歩いて出かけています。	四季の外出や地域の行事、買い物、また、保健センター主催の体操教室へ出かける等、色々な催しに参加し、気分転換をされている。遠出の外出で広島市の平和公園にも行かれている。天候が良い日にはお庭を散歩し、外気に触れる機会を持つようにしている。また、個々の外出希望があれば可能な限り対応され、楽しみごとと五感刺激の支援に努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理のできる入居者様は自分で管理をされておられます。また、施設でのお預かりにて、一緒に買い物に行き対応している入居者様もおられます。そのほかの入居者様は、みんなでの買い物は、選んで頂き、施設側のお金で対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を持っておられる入居者様もおられます。各居室に電話線も引けるようになっております。事務所に電話がかかってきたり、電話を掛けていただいたり、事務所で対応をさせてもらっております。手紙でのやり取りをされている方もおられます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設としては珍しい木造建築、壁も土壁作りとなっており、温かみのある建物となっております。冬には、暖炉もあり、おちついた雰囲気にて生活が出来ていると思います。照明も明るすぎず、廊下・リビングも広い作りになっています。季節によって壁紙などの張替えもいたしております。	それぞれのリビングには暖炉があり、温かみのある木造づくりとなっている。また、壁には季節が感じられる装飾品もある。不快な匂いや危険箇所もなく天井も高く、室温にも配慮され穏やかに落ちついて過ごせる共有空間となっている。食事を作る音や匂いが、五感刺激となると共に家庭的な雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングが広く、ソファでくつろいでテレビなど見る方もおられます。食事のときの入居者様の決まった席も用意してます。廊下にも座れるスペースも十分あり、天気の良い日は玄関先にも座れるように椅子を用意してます。気のあった人とお茶を飲んだり、歌を歌ったたりして過ごして		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様のお部屋は、本人様と家族様にて、なじみのあるものをそろえてもらっております。必要のあるものがある場合には、家族様にお願いをして、もってきていただいております。	写真や収納ケース、好きな歌手のポスターなど、様々な好みのものが持ち込まれ、自宅での生活とのギャップが無いよう配慮され、穏やかに過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造で、スペースも広く、足元にも危険なものも無いので安全な環境を提供できていると思います。入居者様のできることは、なるべく手伝ってもらい、本人の意思で、園庭を散歩されたりしてます。トイレや、居室にも、名前を貼っています。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
			②利用者の2／3くらいの			○	②家族の2／3くらいと
			③利用者の1／3くらいの				③家族の1／3くらいと
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある				③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②利用者の2／3くらいが				②少しずつ増えている
			③利用者の1／3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている	○	①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②利用者の2／3くらいが				②職員の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③職員の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2／3くらいが				②利用者の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③利用者の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2／3くらいが				②家族等の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③家族等の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が				
			②利用者の2／3くらいが				
			③利用者の1／3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グルーホーム 松花園

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 12 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	66	ストレスマネジメント 日頃からスタッフへの声かけ一対一で話をする時間をたくさん作る。	去年の目標も個人面談をするでした。記録に残しておらず、回数も少なかった。今年はできるだけ多く面談を行い記録に残した置く。	現在、できるだけ、面談を行い、記録に残している。だが。面談できて良いスタッフや2回～3回しているスタッフもいる。夜勤者のチェックを行い、記録に残していく。	1年間
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。